

やまがた社会貢献 基金を活用した助成事業のご紹介

■ 協働助成事業(一般型)

越後米沢街道十三峠を活用した地域活性化事業 (県政課題部門：歴史の道を活用した観光交流の拡大)

事業実施団体 越後米沢街道・十三峠交流会 (小国町)

事業内容

新潟県下越地方と置賜地方を結ぶ越後米沢街道は、現在の国道113号が完成する1884年(明治17年)まで、360年間にわたり使用されてきました。新潟県関川村から山形県川西町に通じる約70kmの区間には13の峠があり、敷石道や宿場など多くの史跡や文化が残されています。各峠の保存団体等が中心となり、新たな観光や交



流資源を発掘しながら、地域の活性化に寄与するための活動を展開しています。

本事業では、街道や峠の案内人を育成するため、3回にわたり「案内人養成講座」を実施したほか、東北と北陸の新しい交流を模索する「越後米沢街道学習会」を開催し、古道観光の実態や本街道活用のあり方等について学びました。また、各峠を紹介した「案内マップ」を作成するとともに、ホームページの充実にも取り組みました。

団体からの一言



会員の皆さん

情報交換等が当会の主な活動でしたが、本基金の活用により、大変充実した活動を行うことができました。この成果を観光振興と地域活性化のために活かしていきます。ありがとうございました。

誰でも、どこでも『やまがた暮らし見守り隊の養成』事業 (県政課題部門：消費生活に関する啓蒙活動の推進)

事業実施団体 山形消費生活アドバイザーの会 (酒田市)

事業内容

悪質商法や特殊詐欺による消費者被害が多発しており、それらを防止するためには、家族や町内会等の小さなまとまりでの声かけや絆が必要になっています。折に触れて、最近の悪質商法や詐欺について会話を交わし、みんなで関心や意識を持つことが有効な防止につながることから、本事業では、「いつでも、誰でも、どこでも『誰かが誰かの見守りを!』」のスローガンのもと、多くの皆さんに消費者啓発活動の担い手となる「やまがた暮らし見守り隊」になっていただくための養成活動を実施しています。



悪質商法等の手口と防止法、対処法をクイズ形式でわかりやすく紹介したパンフレット「なるほどクイズでだまされないワン」を作成し、このパンフレットを活用した出前講座や希望者への配布等を行うことで、悪質商法や特殊詐欺への対処法等を知っていただき、ご家族やご友人の方々などに広く伝えることを期待しています。

団体からの一言



佐々木会長

平成26年の特殊詐欺による全国被害は、過去最悪の500億円超となることを見込まれるという発表がありました。家族、親族、友人、近所の方、サークル仲間など自分の身の回りの方が被害に遭わないように、多くの方々に見守り隊になっていただきたいと思っています。そのための応援をしていきます。ご支援いただきありがとうございます。